

1 単元名 読んで、せつめいのしかたを考えよう
 題材「一本の木」光村図書2年下

2 目標

- 事柄の順序や絵と文章とのつながりを考えて読もうとしている。
 (国語への関心・意欲・態度)
- 手順、事柄の順序などに気づき、絵と文章を照応させながら読むことができる。
 (読む能力)
- おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書くことができる。
 (書く能力)

3 指導上の立場

- 児童の実態

削除しています。

○題材観

教材「一本の木」は、前半部分では、ムナーリさんの木の書き方について順序よく書かれている。後半部分では、いろいろな木の形について、文とそれに対応した絵で説明されている。また、「一本の木」の書き方を文章と挿絵を用いて説明しているだけでなく、自然にある木を見る視点も提示している。したがって説明の順序(事柄の順序)に従って絵をかくこと、本文と挿絵とを照合すること、さらに本文の説明と校庭などにある木を照合すること、など確かめる活動を通してしっかりと読み取りの力を育てることができる。

また、簡単な組み立てを考え、事柄の順序を考えながら文章を書く学習へのつながりがとりやすい教材でもある。絵入りの説明書を作る学習は、児童にとってとても興味ある学習であり、意欲的に表現活動に取り組むことができると考える。

○本単元で工夫する点や手立て

領域を有機的に結びつけた関連的な指導(読む・書く)
 説明文教材に、表現運動(書く活動)を取り入れた単元構想の工夫

- ・第2次に生活科と関連させて、おもちゃの作り方の説明書を作る活動を取り入れる。そのときには、第1次の学習を生かして、作り方について、順序よくまとまりに分け、つなぎ言葉や番号を付けて絵と照合した文章を書くようにしていく。

学びを重ねていくことができるよう系統的な指導
 児童に「学び方」「読み方」を意識させ、学んだことが使える力を育てる指導の工夫

- ・ムナーリさんの木の書き方の読み取りでは、文章をまとまりごとにばらばらにして、順序を考えて並び替える活動をする。そうすることで、文と文をつなぐ言葉や語と語のつながりを意識させたい。そして、完成した文をもとに絵を描き、正しく絵が書かれているか確かめるために、文と絵を照合させながら読むことができるようにする。
- ・いろいろな木の形についての読み取りでは、書いてある事柄ごとに文をばらばらにして、絵と組み合わせる活動をする。文と絵が正しい組み合わせになっているか確かめるために絵の特徴は文章のどこに書かれているか考えさせたい。

内容のおもしろさとそれを支えている書きぶりのおもしろさの両面を読む学習活動の工夫

- ・導入でまず自由に木の絵を書かせ、その後にムナーリさんの書き方で書いた木の絵

を提示して絵を比べさせ、驚きをもって本文を読み進めるようにしたい。

- 授業改善の視点
教材の読解を通して、学習した表現方法をおもちゃの作り方の説明書を書く活動に生かすことができる授業。

4 指導計画 (全 11 時間)

第1次 確かめながら読み、説明の仕方について意識をもつ。……………(6時間)

- 第1時 学習の見通しをもつ。
- 第2時 ムナーリさんの木のかき方を読む。
- 第3時 ムナーリさんの木のかき方が分かる絵入りの説明書を作る。
- 第4時 木の形を絵とつなげて読む。(本時)
- 第5時 文章全体の構成と文章の書かれ方について確かめる。
- 第6時 分かりやすい説明文について確かめる。

第2次 おもちゃの作り方の説明書を作る。……………(5時間)

- 第1時 作りたいおもちゃを決める。
- 第2～4時 説明書を作る。
- 第5時 作品を交流する。

5 評価

- ムナーリさんの木のかき方やさまざまな木の形に興味をもち、絵入りの説明書を書こうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 文章と絵とのつながりを理解して読むことができる。(読む能力)
- おもちゃの作り方を、順序に従って分かりやすく書くことができる。(書く能力)

6 本時案 (第1次 第4時)

目 標	絵と文章とを関連づけながら「いろいろな木の形」を読むことができる。	
学 習 活 動	指導・支援に関する配慮事項など	
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○第7, 8段落を読み、木が育っていくきまりを知り、「本物の木はどんな形をしているのか」という課題意識をもたせる。 ○第9段落から第10段落までに書かれた木の形を説明する文と絵をばらばらに提示する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">どの文がどの木の何をせつめいしているのか考えて、組み合わせてみよう。</div>		
2 木の形を絵とつなげて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ○始めに一人で音読し操作する。次に隣同士で対話して確かめ合う。最後に全体で黒板に提示された文と挿絵を組み合わせていく。 ○木を見る視点(幹や枝の長さ、太さ、向き、数)をはっきりさせ、文章で書かれてあることが絵のどこを説明しているのか考えさせる。 ○絵に選んだ根拠となる文を書き込むようにさせる。 ◎絵と文章を正しくつなげて、「いろいろな木の形」を読み取ることができたか。(読む能力) 	
3 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○本物の木の写真を提示して、どの文と絵に当てはまるか理由もつけて言わせる活動をして本時のまとめとする。 	